

# 留学報告書

記入日： 2025 年 1 月 11 日

基本情報	
所属学部・学科	経営学部 学科
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input checked="" type="checkbox"/> 女性
留学先国	カナダ
留学期間	2025 年 9 月～ 2025 年 12 月
留学時の学年	2 年生 (渡航した時の学年)
帰国年月日	2026 年 1 月 3 日
明治大学卒業予定時期	2028 年 3 月
留学先大学について	
大学名 (英文・和文)	英文：University of Victoria 和文：ヴィクトリア大学
所属学部またはコース名	経営学部
キャンパスの所在地	Victoria, BC V8P 5C2 Canada
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦 (Academic Year)	春学期：1 月～4 月 (期末試験期間：4 月 11 日～4 月 29 日) 秋学期：9 月～12 月 (期末試験期間：12 月 4 日～12 月 21 日)
所属学部の学生数	1,298
留学生の割合	17%

留学にかかった費用			
項目	現地通貨 ( )	円	備考
授業料	0 CAD	0 円	<input checked="" type="checkbox"/> 交換留学のため、留学先への授業料免除
宿舍費	約 5,300 CAD	約 600,000 円	一ヶ月：150,000 抽選費、デポジット、海外送金手数料、規定より 2 日前のチェックイン差額含む
食費	約 3,500 CAD	約 400,000 円	一ヶ月：約 10,000
通学費	0 CAD	0 円	一ヶ月：0 円 キャンパス内の寮に滞在していたため
学校用品	約 20 CAD	約 2,000 円	教科書一冊購入
教養・娯楽費	約 170 CAD	約 20,000 円	映画、スケートリンク、アイスホッケー鑑賞費など
被服費	約 170 CAD	約 20,000 円	
医療費	0 CAD	0 円	
保険費	約 750 CAD	約 87,000 円	保険会社：47,000 (明治大学指定) 約 40,000 (ヴィクトリア大学指定)
渡航費	約 3,000 CAD	約 340,000 円	
旅行費	約 4,400 CAD	約 500,000 円	留学中に旅した国：バンフ、シアトル、バンクーバー、カルフォルニア
語学学校	0 CAD	0 円	授業料： 宿泊費：

奨学金/助成金	約 3,800 CAD	440,000 円	奨学金 : JASSO さんに支援していただきました
その他	約 350 CAD	約 40,000 円	助成金 : eSIM、バス代、ジム代
合計	約 17,660 CAD	約 2,009,000 円	

### 渡航について

1) 航空券を購入した時期  
 留学先へ出願後  入学許可書受領後  ビザ取得後  出発直前  その他 ( )

2) どのように購入しましたか?  
 skyticket(JAL)アプリ内

3) 渡航経路を教えてください。  
 (往路) 成田国際空港－バンクーバー国際空港(経由)－ビクトリア国際空港  
 (復路) ビクトリア国際空港－シアトル・タコマ国際空港(経由)－成田国際空港

4) 航空券代金  
 利用航空会社: JAL, WestJet, Alaska Airlines  
 往路: 約 120,000  
 復路: 約 220,000  
 合計: 約 340,000

5) 渡航に関するアドバイスがあればご記入ください。  
 往路の飛行機(WestJet)が当日キャンセルされ、バンクーバー国際空港に10時間ほど滞在しました。そのため、急遽キャンセルされた場合の対処法を調べておくことをおすすめします。

### 留学中の滞在先について

1) 種類 (留学中の滞在先)  
 寮  アパート  ホームステイ  その他 ( )

2) 部屋の形態  
 個室  相部屋 (同居人数: 4人 )

3) 住居の探し方  
 留学先機関が斡旋  自分で探す

4) 大学までの利用交通機関と通学時間 (片道)

利用交通機関	<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車 <input type="checkbox"/> 自転車 <input checked="" type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> その他 ( )
通学時間 (片道)	10分

5) 滞在中の食事について

【平日】	【休日】
朝: <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ( )	朝: <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ( )
昼: <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ( )	昼: <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input checked="" type="checkbox"/> 外食 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (Uber Eats)
晩: <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input checked="" type="checkbox"/> 外食 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (Uber Eats)	晩: <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input checked="" type="checkbox"/> 外食 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (Uber Eats)

6) 滞在先に関する総合的な感想 (これから留学する人のためのアドバイス)  
 私は、キャンパス内にある Cluster Houshing という寮に滞在していました。キッチン、トイレ、シャワーは4人で共同ですが、それぞれに自室は設けられていました。キッチン用具やトイレトペーパーは設置されていないので、ルームメイトと相談の上購入していました。

また、寮への申請は、抽選で決まるため、寮に確実に住めるとは限りません。そのため、申請後も寮以外の滞在先を少しずつ調べておくことをおすすめします。

### 現地に関する情報

1) 留学中は病院にかかりましたか？

はい（利用機関名： ） いいえ

2) 大学内の医務室や診療所で医療サービスは受けられますか？

はい いいえ わからない

3) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか？

経営学部の留学生サポーターの方や友人

4) 留学先大学に相談窓口はありましたか？

はい いいえ わからない

5) 現地の危険地域に関する情報はどのように収集し、どう防犯対策をしましたか？

情報収集	<input checked="" type="checkbox"/> 現地コーディネーター <input checked="" type="checkbox"/> 友人 <input type="checkbox"/> ネット（参考サイト： ） <input type="checkbox"/> その他（ ）
------	--

防犯対策	危険地域には立ち寄らないようにする
------	-------------------

6) 実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれましたか？

はい いいえ

7) 6で「はい」と答えた方：その際どのように対処しましたか？

8) パソコン、携帯電話、インターネットについて、現地での利用状況はいかがでしたか？

パソコン	校内の Wi-Fi を利用 特に通信に問題はなかったです
------	------------------------------

インターネット	校内では Wi-Fi を利用し、外出時は eSIM を利用 eSIM は phonebox を利用していました
---------	---

携帯電話	校内では Wi-Fi を利用し、外出時は eSIM を利用
------	-------------------------------

9) 現地での資金調達はどのように行いましたか？ お勧めの方法があれば紹介して下さい。

Wise というデビットカードを使用していました。日本にいる親から、自分の日本の口座にお金を振り込んでもらい、その口座から Wise に送金して使用していました。クレジットカードよりも手数料を抑えられ、カナダドルだけでなくアメリカドルにもすぐ変換できるため、旅行時にも役立ちました。

10) 日本から持参すべき物があればご記入ください。

常備薬を持って行くと安心です。

### 進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他（ ）

2) 進路選択はいつ・どのようにされましたか？

3) 就職を選択した方は、内定時期とその企業を選んだ理由を教えてください。

内定時期	
------	--

企業名	(差支えなければご記入ください)
業界	
その企業或いは業界を選んだ理由	
4) 就職活動について、留学希望者へ向けたアドバイスをお願いします。	
5) 進学を選択した方は、進学先が決定した時期とそこに決めた理由を教えてください。	
進学先決定時期	
進学先	(差支えなければご記入ください)
その進学先を選んだ理由	
6) 進学について、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします(試験対策など)。	
7) その他を選択した方は、今回の留学経験がご自身の進路選択にどのような影響を与えたかご記入ください。	

## 留学に関するタイムチャート

2024年9月～11月 募集要項公開～選考試験日	書類作成、面接練習
2024年12月～ 2025年5月 合格発表後～出願準備期間	語学学習、 TOKYO GLOBAL GATEWAY 体験型英語学習プログラム参加
2025年6月～7月 出願後～渡航の準備	語学学習、情報収集、航空券購入、留学前ガイダンス、履修登録
2025年8月 留学開始直前	荷造り、eTA 申請
2025年9月 留学開始	留学生オリエンテーション、授業開始

2025年9月～10月 留学中	授業予習復習、旅行
2025年10月～11月 留学中	中間試験、レポート作成、プレゼンテーション、reading break
2025年12月 留学中	期末試験、レポート作成、旅行
2026年1月 帰国後	提出書類作成、TOIEC受験

## 留学体験記

あなたが「留学」という道を選択した理由を教えてください。	
<p>幼少期にアメリカで生活した経験から、異文化に関心を持つようになりました。当時とは異なる視点で文化や価値観の違いを捉えたいと考えたため留学を志望しました。</p> <p>また、日本とは異なる教育環境でグローバルな視点から経営学を学ぶことで、将来の進路に活かせる知識を身につけられると考え、留学を選択しました。</p>	
語学について	
受験した語学能力試験	<input type="checkbox"/> TOEFL-iBT <input type="checkbox"/> TOEIC <input type="checkbox"/> IELTS <input checked="" type="checkbox"/> その他（試験名：TOEIC）
ご自身の英語力向上に効果があった勉強方法	留学中は、英語を“勉強するもの”ではなく、“使うもの”として捉えるよう心がけました。特に、間違いを恐れずに自分の考えを伝えることを大切に、授業内のディスカッションやグループワーク、日常生活の会話を通じて、積極的に英語を使用しました。また、インプットだけでなくアウトプットの時間を意識的に確保することで、語彙や表現が定着し、英語で考えながら話す力が向上したと感じています。
総合的なアドバイス	英語力向上のためには、正確さを重視しすぎるよりも、まずは英語を使う機会を増やすことが重要だと感じました。特に、留学先では、ネイティブスピーカーとの会話を通じて実践的な表現や自然な言い回しを学ぶことができるため、継続的に英語を使用することが、英語力向上へつながると思います。
この留学先を選んだ理由を教えてください。	
<p>治安の良さや多文化的な環境からカナダが留学先として適していると以前から聞いており、安心して学習に集中できる国であると考えていました。その中で、経営学部の交換留学制度において派遣可能出会ったカナダの大学がヴィクトリア大学であったため、本学を留学先として選択しました。</p>	
大学（キャンパス）と学生の雰囲気教えてください。	
大学（キャンパス）	大学のキャンパスは自然に囲まれており、緑豊かで心地よい環境でした。キャンパス内ではリスや鹿を日常的に見かけることができ、落ち着いた雰囲気の中で学習に取り組むことができました。また、授業を受ける教室だけでなく、ジムやバブ、映画館、スタジアムなどの娯楽施設も充実しており、学生生活を豊かにする環境が整っていました。
学生	学生は授業に積極的に参加しており、グループワークでは一人ひとりが責任

	を持って課題に取り組んでいました。また、学生同士の雰囲気は明るく親しみやすく、互いに協力し合う姿勢が見られ、留学生にとっても馴染みやすい環境でした。
<b>現地での交友関係について教えてください。</b>	
<b>正規学生との交流</b>	寮が同じであったルームメイトや、同じ授業を受講していた学生を中心に交友関係を築きました。また、友人同士で出かける際に新たな友人を紹介してもらい機会も多く、共通の授業や所属に限らず、幅広い人々と関わることができました。その結果、ヴィクトリア大学の学生だけでなく、大学外の人々とも交流することができました。
<b>留学生との交流</b>	渡航直後に実施された留学生向けのオリエンテーションを通じて、多くの学生と交流する機会がありました。初対面同士でも共通の立場である留学生ということから打ち解けやすく、生活面や学習面について情報交換を行うなど、互いに助け合いながら留学生活を送ることができました。
<b>留学先大学主催のイベントについて教えてください。</b>	
留学生に対しては、授業開始前にマーケットへの外出など、留学生同士の交流を目的としたイベントが複数開催されていました。また、授業開始後も、ハロウィンやThunderFestといった文化祭のようなイベントが開催され、大学からのメールを通じて定期的に案内がありました。さらに、大学主催のイベントに限らず、寮やさまざまなコミュニティ単位でのイベントも多く開催されており、これらの情報はキャンパス内のポスターや友人から共有してもらうことが多かったです。	
<b>課外活動について教えてください。</b>	
留学生と正規学生が混在するグループで交流する機会が多く、特に週末には一緒に出かけることが多かったです。具体的には、アイスホッケーの試合を観戦したり、友人の自宅に集まって食事をする事が多かったです。	
<b>一日の課題の量を教えてください。</b>	
履修していた多くの科目では、授業前に配布される資料を事前に読むことが求められていました。配布資料は科目によって異なりますが、1科目あたり20ページ程度の資料を読むことが多く、1日あたり約1時間を予習や課題に充てていました。また、一部の科目では、配布資料を読んでから、授業内でディスカッションをすることもあったため、内容を理解した上で取り組む必要がありました。日常的な学習内容としては、授業資料の読み込みによる予習に加え、レポート作成、プレゼンテーション準備、グループワークでの打ち合わせなどがあり、主に図書館を利用して学習していました。	
<b>期末試験について教えてください。</b>	
履修していた科目のうち、期末試験が実施されたのは1科目のみでした。その試験は、授業内容の理解度を確認する振り返りを目的としたもので、担当教員から事前に配布されたスタディガイドに沿って学習を進めることで、無理なく対応することができました。一方、残りの3科目では期末試験の代わりにファイナルプロジェクトが課されており、グループでのプレゼンテーション形式の課題が中心でした。	
<b>留学先で直面した困難（壁）について教えてください。</b>	
学業や生活面で特に大きな困難を感じることはありませんでした。	
<b>これから「留学」を考えている人へメッセージをお願いします。</b>	
留学生活では、思い通りにいかないことや戸惑う場面もありますが、何事も前向きに楽しむ姿勢があれば、多くの学びや出会いにつながると思います。完璧を求めすぎず、失敗や違いも含めて楽しむことで、留学はより充実した経験になると思います。	

## 留学先で履修した授業科目

記入日： 2026年6月18日

### 学習レポート（留学先で履修した科目ごとに記入してください）

1) 留学先	ビクトリア大学
2) 留学先で取得した単位数	6
3) 本学で認定された単位数	<input checked="" type="checkbox"/> 12 単位 <input type="checkbox"/> 現在単位認定中（認定予定の単位数：） <input type="checkbox"/> 単位認定はしません （理由： _____）
4) 留学先で履修した科目について	
履修した授業科目名①	
COM200 Strategy and Business Fundamentals	
科目設置学部	Gustavson School of Business
履修期間	2025 年秋学期
留学先の単位数	1.5
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 3 単位認定 ※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他（ _____ ）
授業時間数	1 回 80 分の授業が週 2 回
担当教授	・ Brian Leacock ・ Tricia Thomas ・ Ricardo Flores 3名の教授によるリレー形式で行われ、それぞれが異なるテーマを担当した。 Brian Leacock 教授は個人能力 (Individual Competencies)、Tricia Thomas 教授は対人能力 (Relational Competencies)、Ricardo Flores 教授は戦略能力 (Strategic Competencies) を担当した。
授業内容	ビジネスの基礎として、個人の意思決定能力、チームでの協働能力、企業の戦略立案能力について学んだ。認知バイアスや感情知能、チームマネジメント、戦略的ポジショニング、競争優位性などを扱い、ケース分析や経営シミュレーションを通じて理論を実践に結び付けながら理解を深めた。
試験・課題など	成績評価は以下の内容に基づいて行われた。 ・ 授業への参加・貢献：15% ・ Reflective Digital Journal（個人リフレクション課題）：20% ・ Team Scenario Analysis：チーム分析レポート）：15% ・ Strategic Lessons Learned Assignment（戦略学習レポート）：10% ・ チームメンバー相互評価および振り返りレポート：20% ・ Edumundo 経営シミュレーションの成果：20%
感想を自由記入	教授によって課題の量や形式に違いはあったが、授業に出席し、課題を期限内に提出していれば十分に単位取得が可能な授業であった。
履修した授業科目名②	
COM 220 Organizational Behaviour	
科目設置学部	Gustavson School of Business
履修期間	2025 年秋学期
留学先の単位数	1.5

帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 3 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ( )
授業時間数	1 回 170 分の授業が週 1 回
担当教授	Kyle Empringham
授業内容	組織行動論 (Organizational Behaviour) について学び、個人の性格や価値観、感情、リーダーシップ、組織文化、チームダイナミクス、組織変革、意思決定、交渉などが組織に与える影響について理解を深めた。ケース分析やグループワークを通じて、実際の組織運営への応用についても学んだ。
試験・課題など	成績評価は以下の内容に基づいて行われた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Personality Assessment Assignment (性格診断結果を用いた約 10 ページの個人レポート) : 25%</li> <li>・ Midterm Exam (ケース分析形式の中間試験) : 25%</li> <li>・ Organizational Behaviour Analysis (カナダ企業を対象としたグループレポート・プレゼンテーション) : 30%</li> <li>・ 授業参加・出席・ディスカッションへの貢献 : 20%</li> </ul>
感想を自由記入	授業期間を通じて同じグループで活動する機会が多く、グループメンバーとの協力が学習成果に大きく影響する授業であった。幸い私のグループは全員が積極的に授業内のワークや課題に取り組み、互いに協力しながら活動することができたため、円滑に授業を進めることができた。
履修した授業科目名③	
PAAS 181 Modern Japanese Culture	
科目設置学部	Department of Pacific and Asian Studies
履修期間	2025 年秋学期
留学先の単位数	1.5
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 3 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ( )
授業時間数	1 回 80 分の授業が週 2 回
担当教授	Ann-Elise Lewallen
授業内容	現代日本文化をテーマに、日本社会と文化の関係について学んだ。戦争の記憶、公害問題、福島原発事故、アニメ・映画、ジェンダー、民族性、ロボット技術などを題材に、日本文化が社会問題をどのように表現し、影響を与えているのかを考察した。
試験・課題など	成績評価は以下の内容に基づいて行われた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業参加・出席 : 10%</li> <li>・ ディスカッション参加および毎週のノート提出 : 20%</li> <li>・ ブックレビューエッセイ 2 本 (各 700 語以上) : 30%</li> <li>・ グループ動画エッセイ (映画分析プロジェクト) : 20%</li> <li>・ クイズ 2 回 : 10%</li> <li>・ Final Exam (記述式試験) : 10%</li> </ul>
感想を自由記入	日本文化を扱う授業であったが、日本で生活しているだけでは気付かないような社会問題や歴史的背景について学ぶことができた。特に福島原発事故や水俣病、アイヌ民族などのテーマは新たな視点を得る機会となった。また、映画を題材としたグループプロジェクトでは、日本社会を文化的な側面から分析する経験ができた。
履修した授業科目名④	
PAAS 252 Pop Cultural Asia	

科目設置学部	Department of Pacific and Asian Studies
履修期間	2025 年秋学期
留学先の単位数	1.5
帰国後の単位認定	<input checked="" type="checkbox"/> 3 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ( )
授業時間数	1 回 50 分の授業が週 3 回
担当教授	Angie Chau
授業内容	アジア各国のポップカルチャーを題材に、グローバル化が文化や社会に与える影響について学んだ。映画、アニメ、K-POP、SNS、ファッションなどを取り上げながら、文化的アイデンティティ、ジェンダー、ファンダム、ソフトパワーなどのテーマについて考察した。
試験・課題など	成績評価は以下の内容に基づいて行われた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参加・ディスカッション：10%</li> <li>・グループプレゼンテーション：20%</li> <li>・中間試験：30%</li> <li>・アジアのポップカルチャーを題材としたマーケティングキャンペーン作成（グループ課題）：30%</li> <li>・最終リフレクションレポート：10%</li> </ul>
感想を自由記入	アジアの映画や音楽、SNS など身近なポップカルチャーを通して、文化や社会について多角的に学ぶことができた。『君の名は。』『パラサイト』『K-POP』など知っている題材も多く、興味を持って授業に取り組むことができた。また、グループでマーケティングキャンペーンを企画する課題では、アジアの文化を海外の人々にどのように伝えるかを考える機会となり、文化発信の難しさと面白さを学ぶことができた。